写真：夏休み教育相談シンポジウム （H８.８.21）

平成８年９月26日発行

スクールカウンセラーと学校

いじめや不登校の増加をきっかけに、昨年度からスクールカウンセラーの導入が始まりました。現在、中学校を中心に県内十数校（１回４時間、週２回程度を原則）に、スクールカウンセラーが配置されています。スクールカウンセラーの大半が、学校教育とは異なる医療や福祉や司法などの専門分野で活躍している、「臨床心理士」と呼ばれる資格を持った心の専門家です。

このような外部の専門家を学校へ定期的に導入する意味について、以下に述べてみたいと思います。

第一に、異なる視点や考え方を持つ人が学校の活動に参画すること自体の持つ意味です。一般に、学校は異質性や多様性よりも、同質性や均質性を重視する傾向にあります。異なる視点の尊重以上に、特定の視点や方向を性急に求めがちです。それに対して、スクールカウンセラーの導入は、従来とは異なる視点や考えを学校に持ち込むことになります。この異質性をどのように受け入れていくかが、画一的と言われる学校に、少なからぬ変化を与える可能性を持つのです。

このことは、第二に、開かれた学校づくりへの可能性を拓きます。従来、学校は同質性の高い組織で、外部の者が学校の内部に定期的に関わることはほとんどありませんでした。言い替えると、比較的閉鎖的な組織で、外部の人々にとって、やや敷居の高い場でした。しかし、スクールカウンセラーの導入は、学校の内部に、外部の人を定期的に受け入れることを意味しています。そのことによって、外に向けて学校が開かれていくことが期待できます。

第三に、スクールカウンセラーの持つ視点や考え方が学校に及ぼす影響です。スクールカウンセラーの基本的な視点や考え方は、その仕事の性質上、徹底した「個の原理」に基づいています。本来、学校も個の尊重をその基礎に置いていますが、多くの子どもたちに対応することから、ややもすると「集団の原理」に偏りがちです。集団に偏りがちの学校が、個に立脚したスクールカウンセラーの視点や考えを柔軟に受け入れることによって、個と集団のバランスを取り戻すきっかけが生まれるのです。

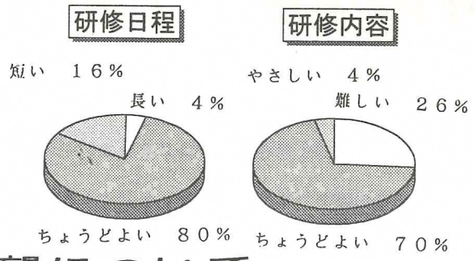
第四に、専門性を問い直す機会が与えられる点です。言うまでもなく、教師も専門性に裏打ちされた職業です。しかし、多忙に紛れ、自らの専門性を再考する機会はあまりありません。スクールカウンセラーという専門家の配置を契機に、「教師の専門性とは何か」「教師とは何をすべきであるのか、また何ができないのか」など、自らの専門性を問い直す機運が生まれる可能性があります。

スクールカウンセラーの導入は、子どもたちの諸問題への援助や解決のみならず、学校を見直し活性化するきっかけにもなり得るのです。 （本間）

視聴覚部研修アンケートより

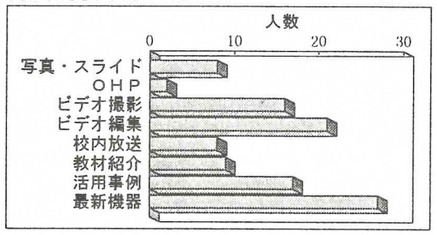
これまでの講座に対するアンケートを集約してみました。講座に対する先生方の評価はおおむね良好ですが，Windowsやインターネットのような新しい講座については難しく感じているようです。

また，来年度の希望としては，やはり，新しいソフトや視聴覚最新機器等の講座への期待が高いようです。

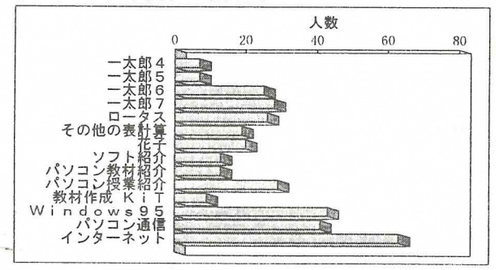


来年度の講座の希望について

（視聴覚関係の講座）



（パソコン関係の講座）



寄贈ビデオ教材紹介！

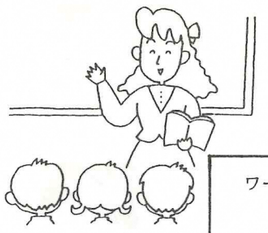
金沢市教育・視聴覚センターには毎年いろいろな諸機関から多くのビデオ教材が寄贈されます。それらは視聴覚教材資料集にも毎年記載されますが，今年度資料集作成後に寄贈を受けた教材をリストアップしてみました。ぜひ，御利用下さい。 （H.８ １月19日以降）

分類	番 号	題 名	分	企 画 ・ 制 作 等	対 象
Ｐ４	８３４	せまってみよう！３つのｷｰﾜｰﾄﾞ －日常生活と科学技術－	３２	協力:科学技術庁 制作:(財)科学技術広報財団	小～高
Ｐ２	４３９	きょうとせいこの 下水道ってなあに	１８	企画:金沢市下水道部	小 ４
Ｐ２	７１８	海運の工夫・技術シリーズ１ エネルギー資源	２０	企画:(社)日本船主協会	中 ３
Ｐ２	６３２	太陽の子メグちゃんの農業案内 ～わたしたちの農業と食生活～ お米・野菜編	１５	企画:農林水産省 制作:(社)農林放送事業団	小 ５
Ｐ４	１１６	未来をひらく光電池	１２	企画:NEDO・ｴﾈﾙｷﾞｰ環境教育情報ｾﾝﾀｰ	小 ４
Ｐ10	１４０	Ｖサイン 中学校用	４５	企画:文部省 道徳教育推進指導資料	中
Ｓ１	１６０	炎の証言 ～最後の空襲～	２９	企画:(社)日本戦災遺族会	一 般
Ｓ１	１６１	北千島最北端・占守島の戦後	９７	企画:学校法人 東海大学	中～一般
Ｓ２	１１２	健康に役だつ微生物	２５	提供:ｶﾙﾋﾟｽ食品,日本視聴覚教材ｾﾝﾀｰ	中～一般
Ｓ５	１４３	いしかわの港,潮と土と手と心	４８	助成:運輸省,石川県	中～一般
Ｓ６	１２６	みんなで回そう リｻｲｸﾙの輪	１４	企画:総理府 制作:(社)日本広報協会	中～一般
Ｓ６	１２７	日本の酪農 －流通・消費編－	２０	企画:畜産振興事業団	小～一般
Ｓ６	１２８	日本の酪農 －生産編－	２０	制作:(社)農林放送事業団	
Ｓ６	１２９	ならんで一緒に歩きたい －男女共同参画社会づくりに向けて－	１６	企画:総理府 制作:(社)日本広報協会	一 般
Ｓ６	１３０	橋は生きている -児島・坂出ルート架橋技術-	３４	提供:本州四国連絡橋公団	高～一般
Ｓ６	１３１	明石海峡大橋 -1995年10月-	２１	(財)海洋架橋調査会	
Ｓ６	１３２	女性・豊かな海と魚	１４	提供:水産庁,日本水産資源保護協会	中～一般
Ｓ７	１１７	APECとは何? -APECの目指す方向と日本の役割-	２６	提供:外務省,日本視聴覚教材ｾﾝﾀｰ	中～一般
Ｓ７	１１８	橋本総理の外交記録	３０	企画:総理府 協力:(社)日本広報協会	一 般

《お知らせ》

”次回センターだより”には平成８年度新規購入ビデオ教材の一覧を掲載します。お楽しみに！

発行者 金沢市教育センター
南 千 之
〒920 金沢市武蔵町14番31号
TEL (21) 7949・1642
FAX (21) 6800
URL http://www.iia.or.jp/ed-center/
e-mail ed-center@kanazawa.iia.or.jp



☆研修会特集☆　研修会の感想 & お知らせ

視聴覚部

ワープロ入門講座を受講して

「ペースト，花子の部品・・・」
テキストに並んだ用語を見るや，あーあ，やっぱり受講コースを間違えたなあ。肩をすぼめながらの受講開始。

文例うちから入ります。案の定，時間がかかりそう。でも，読み込みファンクションで文例が呼べるように用意されているのです。胸をなで下ろし説明を聞きます。「今のキーは，棚の何段目にあるかを探すようなもの・・・」。たとえを使っての説明が私のような頭にも，水がしみ込むように入ってくるのです。と同時に，ペーストってブロック処理のことか・・・。自分のワープロとの共通性や，自分のワープロでわかっていなかったこともよくわかってくるのです。おまけに，指導の先生方が大変親切なので，わからないことでもためらわずに聞きたくなるのです。

あーあ，やっぱり受講してよかった！一太郎Ｖｅｒ６にも挑戦したい！そんな気持ちをかき立ててくれもした講座でした。

小立野小学校　　長村　栄美子　先生

Ｗｉｎｄｏｗｓ９５講座を受講して

パソコンを使うことができる。そんな自分の姿を夢見て，果敢にも，ビデオ録画すらおぼつかない私が，Ｗｉｎｄｏｗｓ９５入門講座に挑戦・・・

目の前におかれたノートパソコンを不安と期待の入り混じった気分でそっと開く。講師の先生の話が聞きやすいように，というか何でも質問しやすいように，大学の講義でも座ったことのない一番前の席で生徒となる。説明書が配られて，目を通す。耳慣れないカタカナ言葉のオンパレード。私のように戸惑っている生徒の様子に気を配られての先生の説明。そっと，そばに来て，どんな初歩的な質問にも優しく丁寧に教えてくださる先生の対応・・・

この講習を終えて，使うこと，慣れることが，自分の夢に近づくことと信じてノートパソコンを購入しました。宝のもちぐされにならないように使っていきたいです。すてきな講習企画をどうもありがとうございました。

小立野小学校　　勝田　敬子　先生

教材作成講座（ＫｉＴ９５）を受講して

昨年もこの講座に参加してＫｉＴ（ＤＯＳ版）の使い方を学びました。

今年は，このＫｉＴがＷｉｎｄｏｗｓ対応になったことを知り参加しました。自分自身まだまだＷｉｎｄｏｗｓの操作が完全でないので，夏休みボケしていた頭にとてもいい刺激になりました。（それだけ必死だった。）

この講座で３つのことを学べました。１つめは，ＫｉＴ９５そのものです。ＤＯＳ版よりもはるかに表現力が良くなっていました。２つめは，ＫｉＴ９５はすでに１台のコンピュータ内のソフトではないことです。ネットワーク上で教材データをやりとりしてコースウエアを作ってしまうところまで視野に入れたソフトなのです。（と，自分では理解しています。）３つめは，ＫｉＴ９５を作られた加藤先生のすごさと柔軟性です。

どこまで使いこなせるかわかりませんが，今後もＫｉＴとつきあっていこうと実感できた講座でした。

北鳴中学校　　嶋　　耕二　先生

「表計算入門」に参加して

使えるようになりたいと思いつつ，周囲に頼ってばかりで，逆になるべく遠ざけできたパソコン。しかし，ついに必要に迫られて使えるようにならなければ・・，と思うときが来，職場の人にすすめられ，講座に参加させていただきました。

よかったです。ふだんはマニュアル本などをあっちこっち広げ直して見ないと進まないのですが，準備していただいたテキストや説明で，順に知りたいことがでてくるわけです。さらにほぼつきっきりで，つまればすぐに後ろに援助者がいてくれる，ということで安心して進めることができました。

どれだけの時間を得したことか。これから何とか自分で頑張って覚えていこうかな，という気になりました。

センターの先生方，ありがとうございました。

城南中学校　　田城　憲成　先生

来年も受講してネ！

お知らせ　パソコン活用授業事例研究の講座にまだ空きがあります。是非，申込んでください。

Ａ７	事例研究（小）	算数	１０/２１（月）午後	Ａ11	事例研究（中）	社会	１０/２８（月）午後
Ａ８	〃	社会	１０/２２（火）午後	Ａ12	〃	数学	１０/３１（木）午後
Ａ９	〃	理科	１１/１８（月）午後	Ａ13	〃	理科	１１/２５（月）午後
				Ａ15	〃	英語	１２/　２（月）午後

♪参加申し込みについては随時受け付けています。電話（２１）７９４９　中島まで♪

教育相談部

児童生徒理解研修会２を受講して

今日の講義や事例報告を聴いてとても参考になり、気持ちが楽になりました。

私のクラスの不登校の子とは性格も環境も違うけれどこれから卒業までの残り半年ほど、私にできることを精一杯してあげたいと思いました。

森本小学校　　大家　悦子先生

小学校学級づくり研修会を受講して

具体的でわかりやすいお話を聞かせていただきありがとうございます。二学期以降、話し合い、ゲームなど即実行してみたい事がいくつかありました。

英語活動も今後の参考にしたいと思います。ありがとうございました。

伏見台小学校　　清田真由美先生

お知らせ

♪参加申し込みについては随時受け付けています。電話（２１）７９４９　中川まで♪

研修会名	月日	対象	研修内容	講師名
児童生徒理解	10月15日(火)午後	小	講演　心と心をつなげる学級づくり	富樫小学校校長　永井　久夫先生
児童生徒理解	10月15日(火)午後	中	討議	
小学校学級づくり	10月15日(火)午後	小	講演　心と心をつなげる学級づくり	富樫小学校校長　永井　久夫先生
小学校学級づくり	11月18日(月)午後	小	事例発表・討議	
教育相談生徒指導	11月　6日(水)午後	小　中	講演 子ども理解と教育相談５（会場　金石町小学校）	土浦短期大学教授　大木　みわ先生
教育相談生徒指導	11月　7日(木)午後	小　中	講演 子ども理解と教育相談６（会場　三　馬小学校）	土浦短期大学教授　大木　みわ先生
障害児学級担当者	11月19日(火)午後	担当者	講義 指導プログラムの作成と指導	県立明和養護学校　佐伯　英明先生

教育相談の基礎

ＴＥＡＣＣＨプログラムについて

（Treatment and Education of Autistic and velated Communication handicapped Childven　の頭文字を並べた略語）

自閉症の人たちへのアプローチの一つとして、アメリカのノースカロライナ州で研究・開発されたＴＥＡＣＣＨプログラムがあります。実際にこのプログラムのもつ素晴らしさの一端を見聞する機会を得ましたので、その概要を紹介させていただきます。

このプログラムは1960年代の中頃から実践され始め、1972年にはノースカロライナ州の自閉症療育に関する公式のプログラムに指定されました。その理念、方法及び成果は国際的に高い評価を得ており、わが国にも10年ほど前から紹介され、各地で実践されています。

その基本的な考え方は、幼児期から成人期まで一貫した援助サービスを自閉症の人たちとその家族に提供することにあります。自閉症の人たちが家庭や学校、地域社会で生活しやすいよう包括的で、しかも適切な援助をしています。

また、この基本的な考え方を実践にうつす上で、次の三点を重視していることが特徴的です。

第一は、自分の子どもを最もよく知っている親の意見や関心と、専門家のもっている経験や知識を組み合わせることで最善の療育が可能になると考えることです。親は自分の子どもに対して何をすべきか専門家に具体的に助言してもらうことで、自信をもって接することができるようになっていきます。

第二に、ＴＥＡＣＣＨのスタッフは専門分野だけの「スペシャリスト」ではなく、「ジェネラリスト」として子どもと親の多様なニーズに対応していることがあげられます。診断、評価、家族への援助、ＩＥＰ（個別教育プログラム）の作成などのさまざまなニーズに数人のスタッフが協力して対応しています。

このことにより親は子どもに関するすべての相談をスタッフにすることができ、どこに相談すべきかという混乱を少なくすることができます。

第三の特徴は「構造化」という方法にあります。子どもたちが何をどのようにすればよいのかをわかりやすくするために、物理的構造化やスケジュール表の使用など多くの工夫がなされています。

このような考え方や特徴をもっているＴＥＡＣＣＨプログラムは、自閉症の人たちへの深い理解に支えられたものであり、多くの示唆を与えてくれました。　（田野）